

## 中日新聞 2008年3月10日(月) 報道

### 精神障害者の医療費無料

市は8月から、医療費が無料になる精神障害者の対象を大幅に拡大する。政令指定都市では初めて、障害手帳の1級だけでなく、2級所持者も対象に加えることを、2月定例会で審議中の新年度予算案に盛り込んだ。家族らの市や議会への切実な訴えが実を結ぼうとしている。(豊田雄二郎)

市精神障害者家族会連合会の常多昇会長(五右衛門)は「画期的な決断。まだ正式決定ではありませんが、市と議会に感謝したい」と喜ぶ。精神障害者保健福祉手帳の所持者は市内に約二万人。うち今回対象となる二級は全体の六割を占め、今後、精神科に限らず、全科の入通院が無料になる。「二級の人は大半が(障害のために)仕事につけない。障害年金をも

# 「2級」も対象に



精神障害者小規模作業所で、モノづくりに取り組む障害手帳の2級所持者ら一東区の「よしの作業所」で

らっている人も少なく、級所持者。十五年前にう家族に全面的に頼っている病を患い、今も、治療のが現状。病院に行くのを続ける。アルコール依のも経済的に厳しい」と存もあり、仕事につけな常多さんは言う。昨午い。症状が重い時は一人来、何度も議会や役所にしてもおけない。常多通い実情を訴え続けた。さんは三年前に会社を辞常多さんも妻(五右衛門)が二め、今はアルバイトで家

精神障害者保健福祉手帳 地下鉄や市営バス、公共施設の料金が無料や割引になったり、税制上の控除を受けられたりする恩恵がある。障害年金の等級や、日常生活や社

計を支える。

うつ病と診断され、堀

常多さんによると、精神障害者には、糖尿病などの生活習慣病を併発している人が多い。それでも、家族にこれ以上の金銭的な負担を掛けたくないからと、病院に行こうとしないケースも少なくない。

障害と認められにくい現実もある。家族会の堀場洋二事務局長(五右衛門)も「男(三)の疾患を、長く認めることができなかった。二男は大学二年生の時から、「朝起きられない」「何もやる気が起きない」状態が続いたが、定職に就こうとしない二男をしっかりと続けた。

### 家族らの訴え 市と議会動かす

申請していない人も、少なくないとみられる。堀場さんは「自宅に引きこもり、本人と家族だけで悩んでいる人も多いはず。今回の医療費助成が、作業所や家族会などとの横のつながりを広げる契機にもなれば」と話している。